

DRI-CHEM

日常のお手入れについて

平素より富士ドライケムシリーズをご愛用頂き誠にありがとうございます。本稿では日に日にお客様の関心が高まっている医療機器の日頃のお手入れについて、影響と対応を解説致します。ご使用の装置の近くに置いて頂き、本稿がお客様の日頃のお手入れの一助になりましたら幸いです。

汚れの種類と付く理由と影響

装置で見られる汚れについて、影響が高い項目からご紹介致します。

汚れの種類	汚れが付く理由	汚れの影響
検 体	血漿・血清の下にある血球成分を吸引した場合、汚れの原因となる場合があります。具体的には、オートチップ先端からの血球成分の落下や、スライド布部に検体が浸透せずスライドの搬送が開始される、など。	測定値 スライドの詰まり
埃	常時装置カバーを開けた場合、空気中の埃などが入りやすくなります。	スライドの認識

どのような影響がある？

汚れによる影響は様々ですが、主に汚れの種類と付着箇所により分類することができます。

汚れの種類	付着箇所	汚れが与える影響
検 体	搬送・点着・電解質部	スライドの詰まりや測定エラーが起きやすくなります。
	インキュベーター部	スライドの詰まりや測定値に影響を及ぼすことがあります。
埃	スライド読取部	スライドの読み取りエラーが起きやすくなります。

「故障かな？」と思ったときにご確認頂きたいこと

汚れ以外にも測定値やスライドの詰まりに影響することがある、ご確認頂きたいことをご紹介します。

ご確認頂きたい内容	ご対応頂きたい内容
冷蔵庫から取り出して直ぐにスライドを開封していませんか？	スライドは5分程度室温になじませてから開封下さい。
点着カバーのネジが緩んでいませんか？	点着カバーのネジを緩みなく締めて下さい。
表裏反対のスライドが混じっていませんか？	バーコード面を下にして積んで下さい。
スライドの上に錘を置き忘れていませんか？	スライドの上に錘を置いて下さい。

インキュベーター部の清掃については裏面をご覧ください。

汚れが付いてしまったら…

表面に記載した影響を受けないようにするため、清掃が必要となります。以下では、測定値への影響があるインキュベーター部の清掃をご紹介します。インキュベーター部以外の清掃は取扱説明書に記載があるのでそちらもご参照下さい。

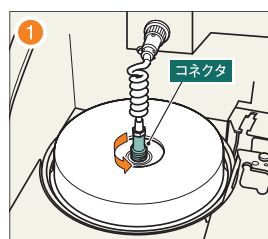
① 準備

40度以下のぬるま湯・手袋・発塵しない柔らかい布（眼鏡拭き・キムワイプ等）

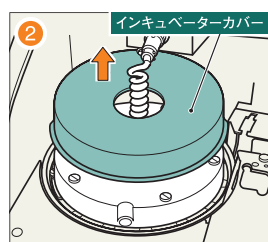
測定中ではないことをご確認の上、装置の電源を切った状態にして下さい。

② 取り外し

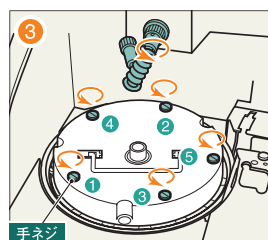
インキュベーター部：



インキュベーターコードの
コネクタを左に回して外す。



インキュベーターカバーを
取り外す。



インキュベーター上面の
手ネジ5箇所を緩めて、
インキュベーターを外す。

③ 清掃：事前準備

① 布をぬるま湯で湿らせる。

※水分が機械内部に入ると錆びの原因となるため、
湿らせすぎた場合は絞って下さい。

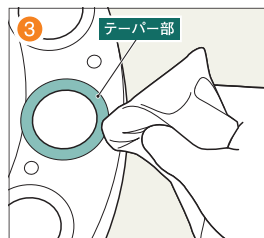
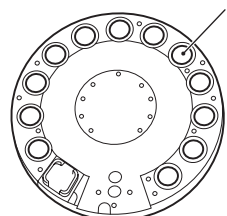
② 外したインキュベーターを、圧着板が上になる様に
平らな場所に置く。

※拭きとりを始める前に手袋を着用して下さい。

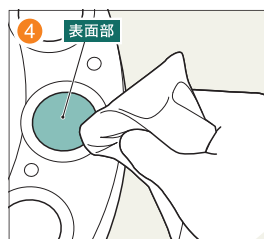
④ 清掃：詳細手順

清掃の周期：汚れが目立つ、あるいは搬送エラーが出る場合には、
清掃周期（週1回以上）を短くして下さい。

インキュベーター押さえ板



圧着板テーパー部（黒色部分の周囲の
金属光沢のテーパー部）を拭く：
血液汚れは目で確認しにくい場合も
あるため、全周を拭く。



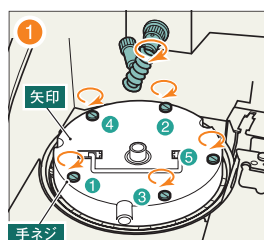
圧着板表面部（黒色部分）を拭く：
測定値に影響が出る部分のため、傷
が付かないようやさしく拭きとる。
※拭くとき布の面はセルごとに覚えて
下さい。汚れが転写される恐れが
あります。
※清掃後押さえ板表面は手指で触れ
ないで下さい。測定値に影響する恐れ
があります。



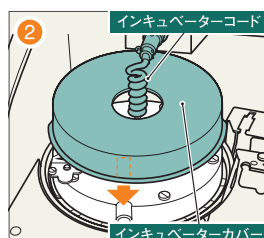
外した下の部分（測定セル）を、
同様の方法で拭く。

⑤ 取り付け

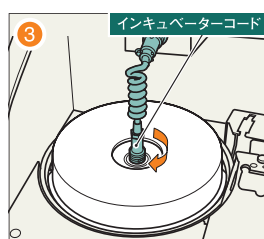
インキュベーター部・点着部：



インキュベーターをセットし、本体
側の矢印とインキュベーター側の
矢印を合わせて手ネジ5箇所を対角
線の順番（①～⑤）になるように
均等かつ確実に締める。



インキュベーターカバーを
取り付ける。



インキュベーターコードのコネクタ
を右に回して固定する。
※コードがよじれて無理な力がかから
ないようにコネクタを差し込んで
ください。
1回転以上よじれていると、断線する
可能性があります。